

第5回建築人賞入賞発表

実施要項及び経過

- 対象作品 会報誌建築人 2012年1月号～2012年12月号「GALLERY」掲載作品 41点
- 審査 第1次 掲載誌より(41点から9点選出) 第2次 図面・写真(9点から4点選出)
- 表彰式 平成25年度通常総会・式典 席上
日時/平成25年5月29日(水) 会場/ホテル大阪ベイタワー 4F ベイタワーホール

- 入賞作品 建築人賞
大正製薬(株) 関西支店 2012年10月号掲載
榆の木テラス 2012年10月号掲載
建築人奨励賞
(株)小松製作所 大阪工場 大阪テクニカルセンタ 2012年1月号掲載
柵木の家 2012年8月号掲載

- 審査委員 審査委員長:石堂 威(都市建築編集研究所代表)
略歴:1964年 早稲田大学第一理工学部建築学科卒業、新建築社入社
1980年『新建築』編集長(～91年)
1985年『新建築住宅特集』創刊編集長(～88年)
1992年 エーディーエー・エディタ・トーキョー入社、『GA JAPAN』創刊編集長(～95年)
1996年 都市建築編集研究所設立、代表



石堂 威

- テクニカルアドバイザー 川北 英 (公益社団法人ギャラリーエークウッド)
指田 孝太郎 (株式会社日建設計)

- 表彰 記念盾 未来へ! (ガラスアーティスト 三浦啓子作)
略歴:1958年 同志社女子大学卒業
1972年「ロクレール」を確立 ダルグラスとエポキシ樹脂による独自の光表現を開発
1978年 第8回世界クラフト会議で発表
(受賞歴)関西芸術大賞(1992)/兵庫県文化功労賞・神戸市文化賞(2008)/兵庫県文化賞(2010)
建築人賞 設計者に表彰状および記念盾を授与、建築主・施工者に感謝状を贈呈
建築人奨励賞 設計者に表彰状を授与、建築主・施工者に感謝状を贈呈



三浦啓子



記念盾 未来へ!

- 目的 公益社団法人大阪府建築士会 会報誌「建築人」GALLERY(建築作品紹介欄)に掲載された作品の社会性、芸術性、時代性を考慮して、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とする。

- 趣旨 公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行し2013年4月現在で586号という歴史を有し、会員である建築士にとって大切な情報提供を行うとともに、作品発表の機会を設け、相互研鑽により建築技術の普及および建築文化の発展に寄与することを目的に企画・編集しています。「建築人」のGALLERY欄に掲載された優秀作品を顕彰する「建築人賞」は、建築士が相互研鑽に励むきっかけとして設けられた作品発表の機会を有意義に活かし、さらに参加意欲を高めるための作品評価、顕彰のあり方を追求した賞です。この賞は、優れた建築作品を紹介することにより、建築が本来持っている社会性、芸術性、および文化性に対する市民の関心と理解を促す意味においても大切だと考えます。審査に

おいては公平性(第三者性)を重視した客観的な方法を採用し、建築士業務の広域化に則した対象地域の拡大に配慮して対象地域や建築種別は問わないこととしました。また大阪だけでなく近畿全域の建築士に門戸を広げ作品、設計者の情報発信の場を開くこととしました。

建築は人類共通の財産ともいえるべき普遍性のある技術と造形美、その場所に唯一存在して、敷地形状や気候風土、さらには歴史、伝統文化によって特徴付けられる固有性を兼備し、その創造に関わった設計者や建築主、施工者の人間性が、機能性やユニバーサルデザインへの配慮、地球環境の保全や環境負荷低減など、細やかな計画上の配慮となって反映されます。それらを評価の基準として作品を分析し、優れた点をわかりやすく解説して表彰、公表することで、作品が建築主のみならず地域の財産として永く大切に利用され、関わった設計者や施工者の誇りとなれば幸いです。建築人賞が設計者の登竜門のひとつとなり、近畿から魅力ある建築情報を発信する動機として成長発展していくよう祈念しています。

建築情報委員会委員長:米井 寛

建築人賞

大正製薬(株) 関西支店



建築主／大正製薬株式会社

設計者／竹中工務店

施工者／竹中工務店

建築位置／大阪府豊中市新千里西町1丁目1-5

竣工年月／2012年7月

用途／事務所

構造・規模／S + SRC 造

敷地面積／2,535㎡

建築面積／1,268㎡

延床面積／11,966㎡

写真／古川泰造

【選評】場所は千里中央、中国自動車道と新御堂筋の交点の北西側にあつて、前方に視線を遮るものはない。この眺望を生かすように、東面と南面を連続させ、反対側には上広がり光庭を地下階から設けて、両面からの採光で開放的で明るい執務空間を生み出している。この東南側の大きなガラス面を横ラインのアルミルーバーが美しく引き締める。天井は方向性を消した照明器具、自然対流と外気の併用によるハイブリッド空調、また光庭の各階にミストの装置と緑を配してオフィス環境を高めている。「健康な未来のオフィス」をテーマに、上り下りしやすい非常階段までもが企業イメージを高めるように北立面を飾っているが、自社ビルを突き詰めた好例といえるだろう。

楡の木テラス



設計者／石井良平建築研究所

施工者／林建設

建築位置／大阪府四條畷市

竣工年月／2012年2月

用途／長屋

構造・規模／木造 地上2階

敷地面積／431.93㎡

建築面積／217.38㎡

延床面積／426.72㎡

写真／多田ユウコ

【選評】南北が水路と道路に挟まれた細長い敷地に立つ6戸の賃貸長屋住宅。設計者が志向したものは事業計画上有利な単身者専用賃貸ではなく、新たな「向こう三軒両隣」。外皮を大波スレートとガルバリウム鋼板に包まれた長屋は、幅3.185m、2階建て、隣り合う住戸を半分ずらし、全住戸に専用の庭を設けている。計画上のポイントは、住人同士の交流を促すようにポーチとテラスが交互につながり、視線が通る軒下路地空間をあえて設けたこと。住民の子供たちがこの仕掛けを楽しんでいたが、ルールづくりを通して交流が深まることを期待したい。道路に面して入口を持つ3戸の1階床は土間仕上げで、多様な生活像が描かれる。意欲的な試みを応援する社会でありたい。

建築人奨励賞

(株)小松製作所 大阪工場 大阪テクニカルセンタ



建築主／株式会社 小松製作所
設計者／KAJIMA DESIGN
施工者／鹿島・前田建設工業・間組
共同企業体

建築位置／大阪府枚方市上野3丁目500-1
竣工年月／2011年3月
用途／事務所
構造・規模／SRC造・RC造 一部S造
地上6階
敷地面積／387,191.63㎡
建築面積／2,761.68㎡
延床面積／14,152.62㎡
写真／島尾 望 (SS東京)

【選評】油圧ショベルやブルドーザーの開発生産を担うコマツにふさわしく、およそ70m×40mの平面、6層の四周を同寸のプレキャストコンクリートのグリッドフレームが回り、質実剛健のイメージをつくる。内部は中央部の長手にコアが配され、その両脇を執務ゾーンとする明快なオフィス。2階から上の中央コア部のセンター部分はコミュニケーションスペースとして位置づけられ、各階に設けられた吹き抜けを通して、屋上のトップライトからの光が各階に届く。光のほか、通風、社員の視線も動き、上下階の風通しにも効果をもたらしている。工場正門からテクニカルセンタの間にビオトープも整備され、ファクトリーパークへの夢も感じられる。

柗木の家



設計者／木原千利設計工房
施工者／SEEDS・CASA

建築位置／奈良市
竣工年月／2009年8月
用途／住宅
構造・規模／木造 一部RC造
地下1階 地上2階
敷地面積／404.40㎡
建築面積／121.00㎡
延床面積／206.16㎡
写真／松村芳治

【選評】敷地は南面の道路より1mほど高い。その高低差を利用して車庫をとり、その上に和室がある。道路からの視線をこの和室が受け止め、背後にある日常の開放的な生活空間を守っている。和室は茶室ではないが、中庭にしつらえた待ち合い、飛び石、露地の風情、にじり口、窓の仕掛けなどから花鳥風月を十分に楽しめるようになっていく。中庭は日常のスペースとも密着している、吹き抜いた食堂、その左右にある茶の間や居間、そして玄関ホールに開放感と愉楽を与えている。それを保証しているのが各所にほどこされた設計者の細やかなデザイン。和室の西側に大きな水盤が設けられているが、にじり口辺りから見る夕刻の風景は格別であろうと想像される。

最終選考に残った作品



大山崎の家
設計者／マニエラ建築設計事務所
構造設計者／木構造建築研究所 田原
施工者／加藤組



滋賀銀行名古屋志賀寮
設計者／竹中工務店大阪一級建築士事務所
施工者／竹中工務店



岩倉の家
設計者／吉村篤一十建築環境研究所
施工者／片山工務店



帝塚山東の家
設計者／井上久実設計室
施工者／伊藤嘉材木店



Zepp Namba (Osaka)
設計者／大林組大阪本店一級建築士事務所
施工者／大林組

●総評

建築人賞が第5回を数え、ようやく御役御免となったところで、これまでの審査を少し振り返りながら総評を書かせていただこうと思う。

最初に審査員のお話をいただいたとき、現地審査があるものだと思っていたが、あくまでも『建築人』の誌面上のみからの判断で、ただし大阪府建築士会会員のメンバーがサポートするということがあった。現地審査がなくて可能だろうかやや疑問に思いつつ、専門誌の編集を長くやってきた経験を生かしてみようと前向きに考え、お引き受けした。しかし実際には、掲載のスペースが1/4ページから2ページのものまであり、1/4ページのものは、経験上の想像力を加えてもさすがに判断するには材料不足で、すべての作品を同一の審査レベルに持っていくのに大いに苦勞した。

それはともあれ、審査を終えたあと、やはり結果に対して気になりだした。そこで建築士会の担当者をお願いして、選出した作品を自主的に確認したい旨を伝えて、設計者に連絡を入れてもらい、見せていただくことをしてきた。この確認作業は審査員の責任を果たすという意味で必要なことだったと思っている。昨年の第4回は第2次審査でなかなか最終判断ができずにいたところ、結論は確認後でもよいといわれて、それに従った。第5回の今回は第2次審査を大阪で行うこととなり、ならば審査の前に確認できるものは見せていただこうとお願いした。第2次審査用に設計者に用意していただいた資料を読み込んだ上で、事前の確認ができたのは心強かった。

このようにして審査員の役割をなんとか果たしてきたと思っているが、力強かったのは、同じ5年間、陰ながら技術面のサポート役を果たしていただいた指田孝太郎、川北英の両氏の存在である。お二人はまさに実践で設計者の役を務め上げてこられた信頼できる方々で、私の迷いや逡巡、また無知に対しては積極的にアドバイスをいただいた。的確な配剤をしていただいたと士会に感謝しているところである。

さて今回のことである。第1次審査で選んだ作品を対象に、名古屋、京阪神間にあるものを見て回った。「(株)小松製作所大阪テクニカルセンタ」は広大な工場敷地の中にあり、その正門からやや距離をおいた真向かいに、特徴の柱・梁によるグリッド・ファサードがある。建物の手前にはジオトープがあり、工場敷地内とは思えない雰囲気をつくり出していたが、これも設計側からの提案だったようだ。毎年、周囲の住民を敷地内に入れ、交流を図る行事があり、テクニカルセンタの屋上から周りの景色を楽しんでもらったという。これは周囲には高層の建物がないため大変喜ばれたそうだ。

また、「大正製薬(株)関西支店」でも、資料からのみでは読み取れない成熟した今日の自社ビルのあり方を確認できた。車で地階にアプローチすると、8層の屋上から光庭を通して届いた柔らかな光の中で、白砂利、ミスト、竹、照明のアンサンブルが出迎えてくれた。次に1階の爽やかなエントラン

ス空間と200席ほどの清楚なホール、ホールから出て化粧室に至までの気分転換を促す空間、各階の両面採光による明るい執務空間など、クライアント企業の特徴を感じさせるような上質で豊かな空間で、またルーバーや手摺など磨き上げたディテールの数々が光っていた。

住宅の「柵木の家」は事前に連絡を取ることができなかったため道路からの観察に止まったが、周辺の実感できただけでも設計者の追い求めているものが推察できたように思う。まことに設計の達者な方だと思った。「楡の木テラス」は6戸の内、まだ入居していない1戸の内部を見学することができた。この建物は、2次審査用の資料で設計者が自ら進んでむずかしい6軒長屋の課題を選んで挑戦したことを知り、ぜひ見学したいと思った。プライバシーを極度に保ちたいという人には向かないかもしれないが、むしろ隣人たちと上手に触れ合いながら暮らしたいと思っている人たちも多いのではないかと。事業者の説得を含め苦勞の多いプロジェクトだったろうが、それをクリアするために多くのことにトライしていて、好感がもてた。こうした前向きで、ひたむきな情熱こそ建築人賞にふさわしいのではないかと思った。後日聞いたところによると、見学した日の夕刻、入居希望者が現れて満室となり、関係者全員がホッとされたという。

思い返すと、毎回、設計者の熱い思いを感じた建物を賞に選んできたように思う。紙一重の差で選べなかった作品も多数あり、その中で私も考え、多くのことを学んできたとつくづく思う。作品をGallery欄に寄せていただいた皆様に心から感謝申し上げたい。

審査委員長：石堂 威



第1回建築人賞

- 伊根町コミュニティセンター
建築主／伊根町 設計／浦辺設計 施工／大林・金下共同企業体
- 日亜化学工業(株) 本社厚生棟
建築主／日亜化学工業株式会社 設計／竹中工務店 施工／竹中工務店
- 加美の山荘
設計／井上久実設計室 施工／あかい工房
- Wajima 十番丁
建築主／和島興産株式会社 設計／日建設計 施工／大林組・小池組共同企業体
- (株)虎屋 京都工場
建築主／株式会社虎屋 設計／KAJIMA DESIGN 施工／鹿島建設

第2回建築人賞

- 清荒神清澄寺史料館
建築主／宗教法人 清荒神清澄寺 設計／竹中工務店 施工／竹中工務店
- 小櫓のある家
設計／マニエラ建築設計事務所 施工／西友建設

第2回建築人奨励賞

- 高槻地域生活総合支援センター ふれいす Be
建築主／社会福祉法人 北摂杉の子会 設計／二井清治建築研究所 施工／安部工務店
- 昭和町の家
設計／藤原・室 建築設計事務所 施工／大種工務店

第3回建築人賞

- アシックス本社東館
建築主／株式会社アシックス 設計／竹中工務店 施工／竹中工務店
- ARK
建築主／楠戸芳弘 設計／岸上勝彦+明建築工作舎 施工／城善建設

第3回建築人奨励賞

- 千里中央プライムステージ
建築主／新星和不動産株式会社・三洋ホームズ株式会社 設計／KAJIMA DESIGN 施工／鹿島建設
- 森のアトリエ
設計／コンパス建築工房 施工／伊田工務店

第4回建築人賞

- 神戸国際中学校・高等学校河野記念アルモニホール
建築主／学校法人 陸学園 設計／竹中工務店 施工／竹中工務店
- 苦楽園の家
建築主／松井 龍 設計／二宮俊一郎+諸留智子一級建築士事務所エヌアールエム 施工／創建

第4回建築人奨励賞

- 児童養護施設 三ヶ山学園
建築主／社会福祉法人 三ヶ山学園 設計／野村充建築設計事務所 施工／東亜建設工業
 - 西宮神社 祈祷殿
建築主／宗教法人 西宮神社 設計／大林組 大阪本店一級建築士事務所 施工／大林組
 - おおい町里山文化交流センター
建築主／おおい町 設計／徳岡設計 施工／こんどう・日登建設共同企業体
 - 路地のある寺内町の家
設計／NEO GEO 横関正人+三木万貴子 施工／山本建築
-